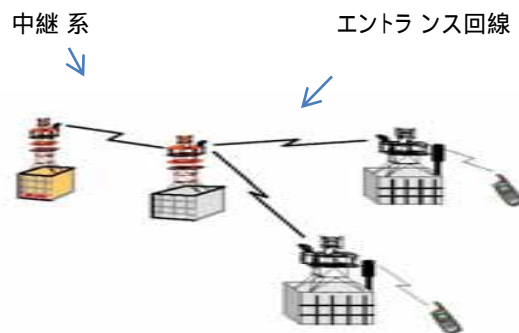


主な用語

- 1 船舶航行用レーダー
船舶に設置する航行のためのレーダー。他の船舶や陸岸を表示させるシステム。
- 2 SART(Search And Rescue Radar- Transponder / 捜索救助用レーダートランスポンダ)
遭難自動通報設備。船舶が重大かつ緊急の危険に陥った場合、捜索救助を行う航空機・船舶のレーダーへ自らの位置を表示させるシステム。
- 3 5GHz帯気象レーダー・5GHz帯空港気象レーダー
雨、雪などの反射波を受信し、あるいは、その反射波の周波数変位、偏波種別を識別することにより、雨量測定、風向測定、雷雲探知などを行うことを目的とするシステム。
- 4 電気通信業務用固定無線システム
電気通信事業者が幹線伝送路(県間、県内)及び県内支線伝送路として使用しているシステム。また、携帯電話等の基地局向けの伝送路としても使用している。
- 5 電気通信業務(中継系・エントランス)
電気通信事業者が、主に携帯電話の基地局向け伝送路として使用しているシステム。



6 第4世代移動通信システム

アナログ方式の自動車・携帯電話(第1世代)、デジタル方式の携帯電話(第2世代)、IMT-2000(第3世代)に続く移動通信システムで、高速移動時で100Mbps、低速移動時で1Gbpsを実現する。現在、国際電気通信連合無線通信部門において標準化作業が行われており、平成23年を目途に勧告案がとりまとめられる予定。

7 STL (Studio to Transmitter Link)

放送局のスタジオから送信所へ番組を送る固定無線回線。

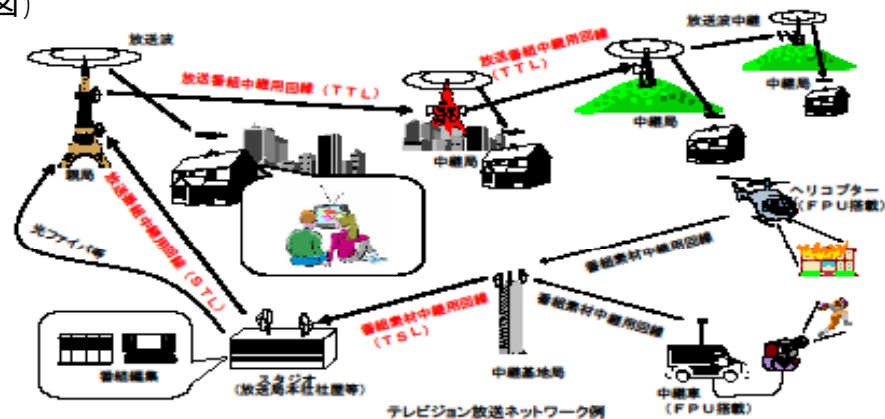
8 TTL (Transmitter to Transmitter Link)

送信所から別の放送エリアをサービスする送信所へ番組を送る固定無線回線。

9 TSL (Transmitter to Studio Link)

FPU の受信基地局と放送局のスタジオを結び番組素材を送る固定無線回線。

(7～9のシステム図)



10 FPU (Field Pick-up Unit):

放送事業者等が取材現場と中継基地局を結び番組素材をスタジオ等へ伝送する移動無線回線。

11 放送監視制御

放送事業者等が、送信所(親局)及び中継局の機器の状態の監視及び制御等をするためのシステム。

12 MLS (microwave landing system / マイクロ波着陸システム)

航空機の着陸援助装置の一種。空港に着陸する際、最終進入及び着陸援助するためのもの。

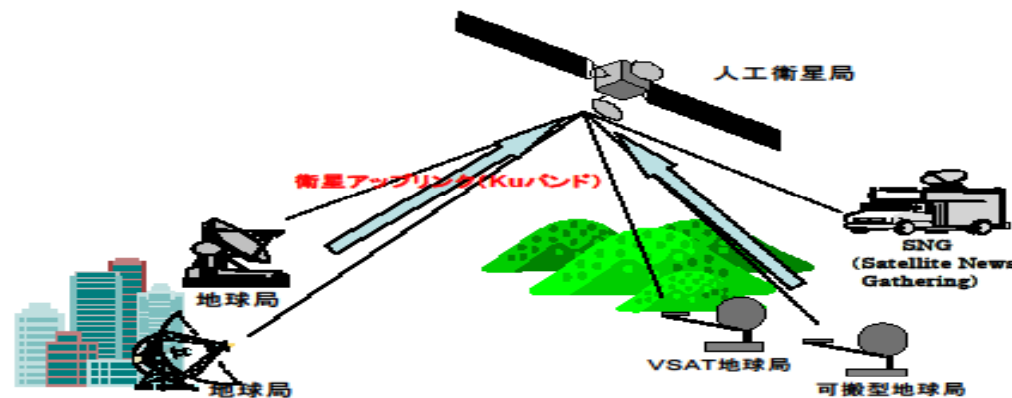
現在、世界で広く使用されている着陸援助装置はILS(計器着陸装置)であるが、将来の航空機の需要に対処しうる新システムとして、マイクロ波を使用したMLSが開発された。

13 ILS (instrument landing system / 計器着陸装置)

航空機が着陸する際、安全に着陸できるように地上から指向性電波を発射し、最終進入中の航空機に滑走路に対する進入経路等を示す装置である。

14 衛星アップリンク

衛星通信システムにおける地上局(地球局)から通信衛星向けの回線。逆に、通信衛星から地球局に向かう回線をダウンリンクと呼ぶ。



15 5GHz帯無線アクセスシステム(5.03-5.091GHz)(登録局)

主に電気通信事業者が住宅・マンションなど一般家庭を対象とした無線によるインターネットアクセス回線として使用している他、自治体が構築する地域公共ネットワークのラストワンマイルとして、条件不利地域等におけるブロードバンド化のために利用している。

16 加入者系無線アクセスシステム

主に電気通信事業者等が端末系伝送路(交換等設備とオフィスや一般世帯との間を接続する回線)や専用回線として使用するシステム。

17 WRC-07

2007年に、スイスのジュネーブで開催された国際的な周波数の割り当てに関する会議。(世界無線通信会議)